



## 電話機レコードの確認

[電話の確認] を選択すると、システムは確認ルーチンを実行して、CSV データ ファイルと Cisco Unified CallManager Bulk Administration (BAT) 電話機テンプレートが、デバイス プールやロケーションなどのすべての必須フィールドを指定しているかどうかをチェックします。確認ではさらに、最初のノードのデータベースとの不一致がないかどうかをチェックします。

### 始める前に

- 追加するデバイスの BAT 電話機テンプレートが必要です。単一回線または複数回線を持つ電話機を追加するには、複数回線を持つマスター電話機テンプレートを使用できます。詳細については、[P.1-5](#) の「[マスター電話機テンプレート](#)」を参照してください。
- 電話機または他の IP テレフォニー デバイスに固有の詳細を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。

## CSV データ ファイルの電話機レコードの確認

CSV データ ファイルの電話機レコードを確認する手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** [Bulk Administration] > [電話] > [電話の確認] の順に選択します。

[電話の確認 (Validate Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [電話固有の詳細の確認 (Validate Phones Specific Details)] オプション ボタンをクリックし、カスタマイズされたファイル形式を使用する電話機レコードを確認します。ステップ 4 と 5 に進みます。

**ステップ 3** [電話すべての詳細の確認 (Validate Phones All Details)] オプション ボタンをクリックして、[すべての詳細] オプションを使用して生成したエクスポート電話機ファイルから電話機レコードを確認します。

**ステップ 4** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リストボックスで、この特定のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

**ステップ 5** [固有の詳細] オプションを選択した場合は、[電話テンプレート名 (Phone Template Name)] ドロップダウン リストボックスで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを選択します。

**ステップ 6** [送信] をクリックすると、選択した CSV データ ファイルと最初のノードのデータベースが検証されます。

**ステップ 7** ジョブが即座に送信されて実行されます。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-3 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

---

### その他の項目

詳細については、[P.5-2 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 関連項目

- [CSV データ ファイルの電話機レコードの確認 \(P.5-2\)](#)
- [電話機テンプレート](#)
- [電話機のファイル形式](#)